

(様式2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 23年 2月 15日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3495000022		
法人名	社会福祉法人 誠心福祉会		
事業所名	誠心園グループホーム		
所在地	広島県江田島市江田島町宮ノ原三丁目16番88号 (電話) 0823-42-6177		
自己評価作成日	平成22年10月12日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.hksjks.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3495000022&SCD=320
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	(社福) 広島県社会福祉協議会
所在地	広島県広島市南区比治山本町12-2
訪問調査日	平成22年11月15日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>盆踊りやお祭りなどの地域行事に参加したり、園児を招いて餅つきをして、地域社会の中で楽しむことが出来るよう支援しています。 家庭的な雰囲気の中で自由にゆったりと過ごして頂けるよう支援をしています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>グループホーム誠心園(以下、ホーム)は、ウッドハウス風のレストランのような外観を持っています。両脇に木々が植えられた玄関までのアプローチや建物の周囲にある木のベランダ、大きなガラス窓、広い居室は、落ち着いた雰囲気が醸し出されています。 また、家族や親戚などの訪問が多いことも大きな特徴といえます。 職員一人ひとりに「私たちは、心に寄り添えるあたたかい暮らしを提供します」「一人ひとりの希望に沿った生きがいのある生活を提供します」というホームの理念が浸透しており、利用者の思いや家族の希望に応えるための努力を続けておられます。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営(東棟)					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	利用者の尊厳と自立を守り、地域の中で安心して生活できるよう事業所独自の理念がある。	平成18年に開所された当時、外部研修を受講した職員が理念の大切さを学び、ホームで独自の理念を作ることとなり、当時の職員全員で理念を作成されました。分かりやすい言葉で作成されており、職員にも十分浸透しています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	自治会の運動会・文化祭参加や保育園の発表を見学に行ったり、ご近所さんを招待して餅つきをしたりと地域との交流を深めている。	自治会には加入されていませんが、運営推進会議のメンバーである自治会役員から情報を得て、地域行事に参加されています。また、利用者から「交流会に友人を招きたい」との希望を受け、友人にも交流会に参加してもらうなど、利用者と地域のつながりを継続させる工夫が行われています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	事業所独自では相談を受けることはしていないが、運営推進会議や特養の行事を通じて相談を受けるようにしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	定期的に運営推進会議を開き、行政担当者・地域包括支援センター・地区役員・家族の方の意見を参考にしたり、ホームの現状を報告している。会議での意見助言を参考にサービスの向上に活かしている。	運営推進会議は、2か月に1回開催されています。災害時におけるホームの体制について報告したところ、地元消防団からの協力申し出が得られました。また、民生委員の参加は、地元地区以外からの参加もあり、関係者のホームに対する理解は広がりつつあるといえます。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	電話での相談や質問を行っている。	ホームの母体である特別養護老人ホームの事務長が窓口となって、市担当者との連携を図っています。今年度中に行われるスプリンクラー設置工事は、市補助金を活用される予定です。	ホームと併設の特別養護老人ホームは、地域住民の安心につながる場所であるといえます。ホーム近辺の道路や街灯など、環境整備についての再点検を市担当者で行われることを提案します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>研修の機会を設け職員全体で拘束における弊害を認識し、拘束をしないケアに努めている。</p>	<p>職員は、身体拘束の弊害を十分理解していますが、やむを得ない場合にのみ家族に説明して同意を得ておられます。各ユニットの玄関は、施錠していないので、利用者が自由に行き来できます。夜間は、玄関の外に設けられた格子戸風の扉を施錠し、外に出た時は戸を開ける音で気づけるようになっています。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>研修の機会を設け職員全体で認識して、防止に向けて取り組んでいる。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>研修の機会を設け知識を深めていくようにしている。。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居時の契約については、パンフレット配布、利用者を含めての事前見学をして頂き、本人・家族と十分な話し合いの後行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>日常生活の中で、利用者や家族が意見・苦情を気軽に話し合えるような関係作り心がけている。</p>	<p>面会の家族と利用者がゆっくり話ができるよう配慮されるなど、信頼関係づくりに努めておられます。リハビリ実施の希望には、事務長が手作りの昇降台を作成したり、生活状況を知りたいという希望に応じて、見やすい書式の報告書を提供されたりしています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>一日2回のミーティングで、職員の意見・提案の場を設けサービスに反映させている。</p>	<p>夜勤明け、夜勤入りの時間帯にミーティングを行い、情報共有の機会とされています。</p> <p>職員の間にも意見を言いやすい雰囲気があるため、業務上の気づきや提案は、随時行われています。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>適切な管理・状況把握に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>認知症に対する深い理解や洞察そして、介護力の向上を培うための研修体制の強化を目的とし努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>現在取り組んでいないが、開設予定の事業者との交流はあり、意見交換を行っている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>見学・面接や自宅訪問を実施し、ホームでの生活不安を解消するように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居に至るまでの、家族の思い・利用者本人の状況等を伺い、意見や要望をサービス提供に活かせるよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>状況に応じて、可能な範囲で対応するようにしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>利用者と一緒に買物・散歩に出かけたり、趣味活動など出来る事をして頂いている。職員と共に家庭的な雰囲気の中で日常生活を送られるように支援している。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>家族面会時には、状況報告を行うと共に、話しやすい関係を築くように努めている。家族交流会を開き、職員との絆をより深いものにするよう心掛けている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>知人などの面会促進、かかりつけ医療の継続等、入居前の関係を大切にしている。</p>	<p>入居前の近隣住民、家族、親戚の面会が多いことがホームの特徴です。訪問日にも家族の面会が数組見られました。法事や結婚式、外泊などの送迎に協力するなどして、家族と一緒に過ごす場面を多く提供されています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	利用者同士の関係を大切にし、身近な事への話題提供を行ったり、レクレーション・体操参加を促し、ユニット間の垣根のない関わりあいに努めている。		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしなが、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	退去後も可能な限り、継続的な関わりを持つようにしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	今までのその人らしい暮らし方を保てるように、慣れ親しんだ物で生活できるようにしている。本人の発言を日誌に残し職員で共有している。	利用者の行動に制限を設けず、見守るなかで思いを把握するように心がけておられます。利用者が趣味として楽しんでいるパズルや生け花に必要な買い物の手伝いや、気分転換を図れるよう一人ひとりの希望に沿った暮らしとなるよう配慮されています。	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	自宅訪問し、利用者・家族から話を伺い、より多くの情報収集に努めている。		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	一人ひとりの状態を把握し、情報の共有に努め記録するようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人家族の意向を大切に、多職種と連携して職員会議を行い、ケアプランに反映させている。</p>	<p>介護計画は、認定期間を単位として本人・家族・介護職の意見を取り入れて作成されています。</p>	<p>認定期間の半期を目安に見直しを行うことにより、利用者の小さな変化に気づくことも考えられます。本人の状態や課題がより正確に介護計画に反映されることを期待します。</p>
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>状態変化に応じた日々の個別記録の記入を行い、全職員が何時でも閲覧し意見反映できるようにしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>隣接している特養の趣味活動に参加したり、デイサービスの温熱療法を利用したり、時にはニーズがあれば理学療法士の個別指導を受けたりと多機能的なサービス提供に努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>消防署立会いにより避難訓練の実施・消火器使用時の指導、保育園児を招いての餅つき、ボランティアの方による絵手紙・うどん作り体験を行っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>利用者・家族の希望で、かかりつけ医を選択して頂いている。主治医以外の医療機関にも受診介助をしたり、要望があれば歯科往診にも対応している。</p>	<p>協力歯科医院が月に2～3回往診されています。これは、入居前から口腔ケアの習慣を持っていた利用者がその習慣を継続したいという希望に応えたものです。かかりつけ医への通院は、家族の協力を得て行っておられます。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>24時間体制で、必要に応じて隣接する特養の看護師と連絡・相談し連携を図っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入退院の付き添い、医師・看護師・家族と連絡を取っており、情報交換に努めている。要望があれば病院主催のカンファレンスにも参加している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>重度化した利用者には、家族・主治医との話し合いを行い、緊急を要する場合は隣接している特養に移動していただくこともあ</p>	<p>家族の多くは、ホームの入居選択にあたり、母体が特別養護老人ホームを運営しているという理由をあげられています。実際に、重度化した利用者が転籍した事例もあります。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>定期的ではないが緊急の場合、対応できるような資格を持っている職員より指導を受けている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>消防署による避難訓練の他に、毎月自主的にホーム内で訓練を実施している。運営推進会議にて防災を議題にし、地域の消防団員参加をお願いし、協力体制を築くようにしている。</p>	<p>今年度中にスプリンクラー工事が始まる予定です。設置されるまでは毎月避難訓練を行うことを職員全体で決め、実行されています。各居室のすぐ外がベランダであるため、避難経路はそれぞれ確保されています。地元消防団から協力申し出を得て災害時の体制が強化されています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	職員会議にてプライバシーの尊重・利用者への言葉使い、対応に配慮するよう指導している。記録等は職員以外の目に触れないように管理している。	職員採用時に、ホームの理念を周知されています。呼称や苗字を呼ぶ、入室はノックしてからとするなど、利用者を尊重する姿勢が見受けられました。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日常の会話から利用者の意向・希望を見出し、できるだけ自己表出できるように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりのペースに合わせて、日々の生活支援をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	特に希望がない場合には、訪問理美容を利用して頂いている。買物時には、利用者本人に衣服を選んで頂くようにしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	職員は利用者と一緒に食事をして会話を楽しむようにしている。配膳・後片付けは強制をせず自主的に手伝っていただいている。	主菜や副菜は、母体の特別養護老人ホームの厨房で調理されています。ホームでは、炊飯と汁物やホームで取れた野菜などを使った一品を作られています。職員も一緒に食卓に着き、和やかに話をしながら食事を楽しまれています。下膳を手伝う利用者の姿も見受けられました。	今月から職員は、弁当などを持参する方法に変更されています。毎食1人は利用者と同じ食事を取り、味付けや硬さについて利用者の意見を代弁する環境を整えてくださるよう提案します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>献立は隣接している特養の管理栄養士が立てている。食事・水分摂取状況の記録を行い、摂取量の少ない方には、好みの飲み物や、果物・おやつ等で補うようになっている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後とはいかないが、口腔ケア・義歯洗浄を行い、必要時には歯科往診をもらっている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>プライバシーに配慮しつつ，一人ひとりの排泄パターンに合わせて支援を行っている。</p>	<p>ゆっくり利用者に関わることができるというホームの利点を活かされています。できる限りオムツの使用を減らし，状態に応じてパットやポータブルトイレを使用して，自立した排泄に向けて取り組まれています。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便管理を行い、時にはオリゴ糖を飲用している。食生活・運動に工夫しながら個々に合った予防対策に努めている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>利用者の希望に沿うように、入浴して頂いている。</p>	<p>毎日入浴できる状態があります。入浴を嫌がる利用者もありますが、無理強いくことなく利用者が風呂に入りたくなるような声かけをされています。浴槽は檜でできており、浴室には檜のよい香りが漂っていました。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	日中はなるべく活動的に過ごして頂くようにし、その人にあったペースで休憩・快眠ができるように心がけている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	主治医の管理・指示の下に服薬介助・確認を行っている。服薬内容は個人のファイルに綴じており、症状に変化があれば主治医に連絡・相談するようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	食事の配膳・片付け・洗濯たたみ等を自主的にして頂き、散歩・レクリエーション等は、利用者と一緒にしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	随時、希望があれば外出するようにしている。利用者の要望にて、宮島参拝・回轉寿司などに出かけたこともありました。	ホームの玄関には鍵がかかっていないので、いつでも自由に外出ができます。本人の体調や希望に応じて、ホーム前のみかん畑まで歩くこともあります。また、ベランダを一周することができるので、ベランダの散歩を日課にする利用者もおられます。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	金銭管理が可能で所持を希望される方には、助言しながら使えるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>利用者の希望で電話をかけた時、必要時には職員がかけて取り次ぐ事もある。2名携帯電話を所持し、自由に家族と通話している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>天井高で窓が多いため自然光が入り、季節をふんだんに感じることができる。玄関やホールに利用者の作品を展示したり、お花を生けて明るく落ち着いた雰囲気を出せるように努めている。</p>	<p>木造ならではの暖かさと大きな窓がホームの特徴です。循環式の空気調節装置が備えられ、温度調整も適切に行われています。ホームは、道路から少し奥まった所に建っているため、とても静かな環境にあります。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>玄関先のロッキングチェア・リビング・和室等で気の合った利用者同士で会話をしたり、のんびり過ごして頂くような空間作りをしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>自宅から使い慣れた家具を持参して頂いたり、家族の写真を飾ったりと利用者や家族が居心地よく過ごせるように配慮している。</p>	<p>居室は広く、すべての部屋にトイレが設置されています。また、ガラス窓の内側に障子窓があり、柔らかな日差しが差し込んでいます。家具やベッドは家族と一緒に配置を決め、個性的な部屋となっていました。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>建物内部はバリアフリーで安全な生活を送られるように、ゆったりとした居室には洗面台・トイレを設置している。</p>		

V アウトカム項目(東棟)			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の3分の2くらいの
			③利用者の3分の1くらいの
			④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の3分の2くらいと
			③家族の3分の1くらいと
			④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の3分の2くらいが
			③職員の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の3分の2くらいが
			③家族等の3分の1くらいが
			④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営(西棟)					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	利用者の尊厳と自立を守り、地域の中で安心して生活できるよう事業所独自の理念がある。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	自治会の運動会・文化祭参加や保育園の発表を見学に行ったり、ご近所さんを招待して餅つきをしたりと地域との交流を深めている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	事業所独自では相談を受けることはしていないが、運営推進会議や特養の行事を通じて相談を受けるようにしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	定期的に運営推進会議を開き、行政担当者・地域包括支援センター・地区役員・家族の方の意見を参考にしたり、ホームの現状を報告している。会議での意見助言を参考にサービスの向上に活かしている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	電話での相談や質問を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	研修の機会を設け職員全体で拘束における弊害を認識し、拘束をしないケアに努めている。		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	研修の機会を設け職員全体で認識して、防止に向けて取り組んでいる。		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	研修の機会を設け知識を深めていくようにしている。。		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	入居時の契約については、パンフレット配布、利用者を含めての事前見学をして頂き、本人・家族と十分な話し合いの後行っている。		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	日常生活の中で、利用者や家族が意見・苦情を気軽に話し合えるような関係作りに心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>一日2回のミーティングで、職員の意見・提案の場を設けサービスに反映させている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>適切な管理・状況把握に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>法人内外の研修に参加を勧め、積極的に人材育成を行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>現在取り組んでいないが、開設予定の事業者との交流はあり、意見交換を行っている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>見学・面接や自宅訪問を実施し、ホームでの生活不安を解消するように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居に至るまでの、家族の思い・利用者本人の状況等を伺い、意見や要望をサービス提供に活かせるよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>状況に応じて、可能な範囲で対応するようにしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>育児や料理等、生活の知恵や経験を教えてもらい、お互いに支えあう関係を築いている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>家族面会時には、状況報告を行うと共に、話しやすい関係を築くように努めている。家族交流会を開き、職員との絆をより深いものにするよう心掛けている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>知人などの面会促進、かかりつけ医療の継続等、入居前の関係を大切にしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	利用者同士の関係を大切にし、身近な事への話題提供を行ったり、レクレーション・体操参加を促し、ユニット間の垣根のない関わりあいに努めている。		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしなが、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	退去後も可能な限り、継続的な関わりを持つようにしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	今までのその人らしい暮らし方を保てるように、慣れ親しんだ物で生活できるようにしている。本人の発言を日誌に残し職員で共有している。		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	自宅訪問し、利用者・家族から話を伺い、より多くの情報収集に努めている。		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	一人ひとりの状態を把握し、情報の共有に努め記録するようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人家族の意向を大切に、多職種と連携して職員会議を行い、ケアプランに反映させている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>状態変化に応じた日々の個別記録の記入を行い、全職員が何時でも閲覧し意見反映できるようにしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>隣接している特養の趣味活動に参加したり、デイサービスの温熱療法を利用したり、時にはニーズがあれば理学療法士の個別指導を受けたりと多機能的なサービス提供に努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>消防署立会いにより避難訓練の実施・消火器使用時の指導、保育園児を招いての餅つき、ボランティアの方による絵手紙・うどん作り体験を行っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>利用者・家族の希望で、かかりつけ医を選択して頂いている。主治医以外の医療機関にも受診介助をしたり、要望があれば歯科往診にも対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>24時間体制で、必要に応じて隣接する特養の看護師と連絡・相談し連携を図っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入退院の付き添い、医師・看護師・家族と連絡を取っており、情報交換に努めている。要望があれば病院主催のカンファレンスにも参加している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>重度化した利用者には、家族・主治医との話し合いを行い、緊急を要する場合は隣接している特養に移動していただくこともある。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>定期的ではないが緊急の場合、対応できるような資格を持っている職員より指導を受けている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>消防署による避難訓練の他に、毎月自主的にホーム内で訓練を実施している。運営推進会議にて防災を議題にし、地域の消防団員参加をお願いし、協力体制を築くようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	職員会議にてプライバシーの尊重・利用者への言葉使い、対応に配慮するよう指導している。記録等は職員以外の目に触れないように管理している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日常の会話から利用者の意向・希望を見出し、できるだけ自己表出できるように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりのペースに合わせて、日々の生活支援をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	特に希望がない場合には、訪問理美容を利用して頂いている。買物時には、利用者本人に衣服を選んで頂くようにしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	職員は利用者と一緒に食事をして会話を楽しむようにしている。配膳・後片付けは強制をせず自主的に手伝っていただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>献立は隣接している特養の管理栄養士が立てている。食事・水分摂取状況の記録を行い、摂取量の少ない方には、好みの飲み物や、果物・おやつ等で補うようにしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後とはいかないが、口腔ケア・義歯洗浄を行い、必要時には歯科往診をもらっている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>プライバシーに配慮しつつ，一人ひとりの排泄パターンに合わせて支援を行っている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便管理を行い、時にはオリゴ糖を飲用している。食生活・運動に工夫しながら個々に合った予防対策に努めている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>利用者の希望に沿うように、入浴して頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	利用者の生活習慣を大切にして頂くように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	主治医の管理・指示の下に服薬介助・確認を行っている。服薬内容は個人のファイルに綴じており、症状に変化があれば主治医に連絡・相談するようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	施設内の土地で家庭菜園作りを実践している。利用者をはじめ、職員やボランティアも参加して野菜や果物を育てている。収穫して楽しみのある食卓を囲んでいる。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	希望があれば外出するようにしている。利用者の要望にて、宮島参拝・回転寿司などに出かけたこともありました。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	金銭管理が可能で所持を希望される方には、助言しながら使えるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>利用者の希望で電話をかけたたり、必要時には職員がかけて取り次ぐ事もある。2名携帯電話を所持し、自由に家族と通話している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>天井高で窓が多いため自然光が入り、四季をふんだんに感じることができる。玄関やホールに利用者の作品を展示したり、お花を生けて落ち着いた雰囲気を出せるように努めている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>玄関先のロッキングチェア・リビング・和室等で気の合った利用者同士で会話をしたり、のんびり過ごして頂くような空間作りをしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>自宅から使い慣れた家具を持参して頂いたり、家族の写真を飾ったりと利用者や家族が居心地よく過ごせるように配慮している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>建物内部はバリアフリーで安全な生活を送られるように、ゆったりした居室には洗面台・トイレを設置している。</p>		

V アウトカム項目(西棟)			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の3分の2くらいの
			③利用者の3分の1くらいの
			④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の3分の2くらいと
			③家族の3分の1くらいと
			④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の3分の2くらいが
			③職員の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の3分の2くらいが
			③家族等の3分の1くらいが
			④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 誠心園グループホーム

作成日 平成 23年 2月 10日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	10	認定期間に合わせてモニタリングをしていたので、利用者の細かい変化に対応できていない事があった。	6か月を目安にモニタリングを実施していく。	モニタリングを年2回行うことで、本人の状態や課題がより正確に把握でき介護計画に反映することができる。	6か月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。